

橋周太 ハシノタカ 陸軍軍人。慶應元年九月十五日肥前國生乳、明治二十七年八月二十一日歿（一八六五—一九〇四）。陸軍士官學校卒。陸軍戸山學校教官、名古屋地方幼年學校校長等を経て歩兵第二四聯隊第一大隊長とあり、日露戦争に出征して遼陽で戦死、軍神ととして稱揚せられた。死後中佐に進級。

著書 『経験餘録』（昭和四十七年八月二十一日序、自衛隊・第二十四普通科連隊）等。文獻に、大谷深造著『橋中佐』（大正二年五月四日厚生堂）、森本丹之助編『軍神橋中佐』（大正九年八月二十日忠誠堂）、大戸徹著『軍神橋中佐廣瀬中佐詳傳』（昭和十一年九月十日國民教育會）等。